

フラットレンジフード

toolbox

目次

安全上の注意	1
各部の名称	2
使い方	2-3
お手入れの仕方	3-5
故障と思われる前に	5
仕様について	6
アフターサービス	7

株式会社 TOOLBOX

URL www.r-toolbox.jp

ご使用の前に必ずこの取扱説明書をお読みの上、正しくお使いください。
お読みになった後は、大切に保管してください。
この取扱説明書は取付設置後、お施主様へ必ずお渡しください。

安全のため必ずお守りください

安全に使用していただくための重要な項目ですので必ずお読みください。

- ここに示した事項は、安全に関する重大な内容の記載です。表示と意味は次のようにになっています。



誤った取り扱いをしたときに、人が死亡や重傷等の重大な結果に結び付く可能性が大きいもの。



誤った取り扱いをしたときに、人が傷害を負う危険または物的損害に結び付く可能性があるもの。

本文中に使われている図記号の意味は次のとおりです。

	「禁止」事項		分解・修理・改造禁止		電源プラグを抜く
	指示に従う		接触禁止		水場での使用禁止

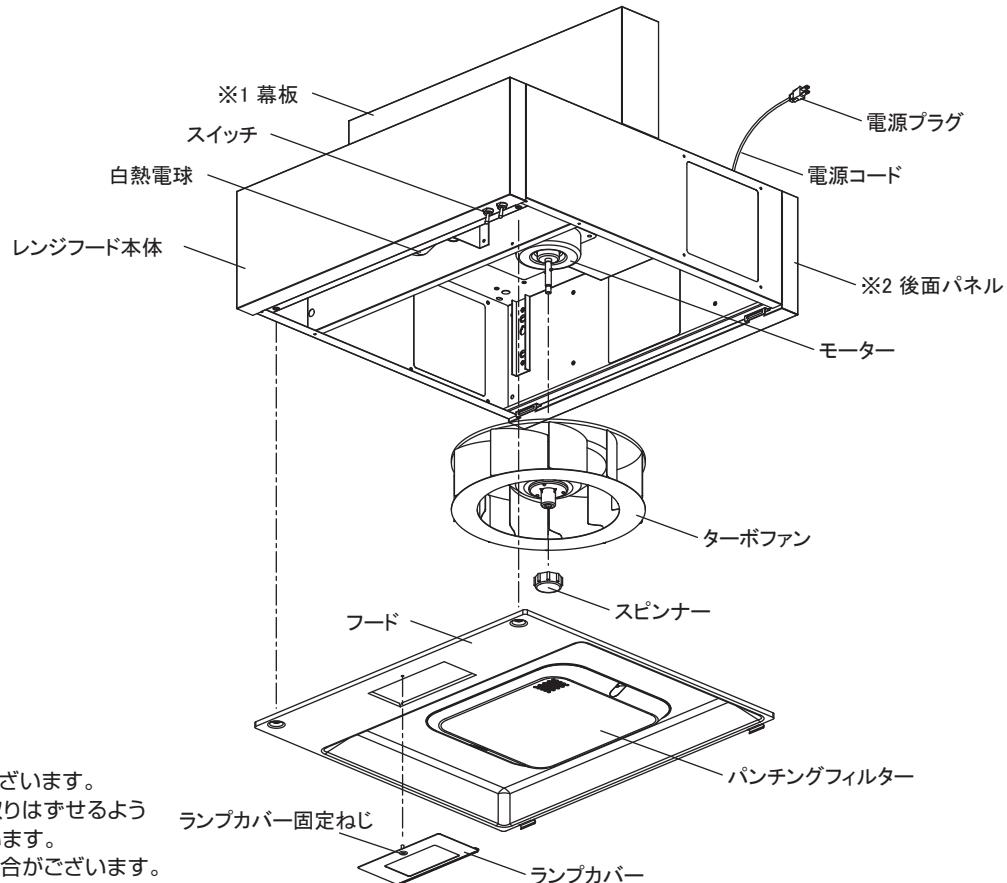
⚠ 警告

	修理分解はしない 		お手入れは「切」にしてから
	水・洗剤等の液体につけたり、かけたりしない 		ガスもれのときはスイッチを入れない
	交流 100V 以外では使用しないこと 		レンジフード本体と排気ダクトは、可燃物との距離を 10cm 以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆う必要があります。 ※詳しくは、所轄の消防署へ確認ください。

⚠ 注意

	調理中や運転中に部品をはずさない ● 調理中や運転中に、パンチングフィルター及び周辺の部品等をはずさないでください。 落下によりけがをするおそれがあります。		部品の取り付けは確実に ● 部品の取り付けは確実に行ってください。 落下によりけがをするおそれがあります。
	部品を扱うときは厚手の手袋使用 ● 部品を取りはずすときや、洗うときは必ず厚手の手袋を着用してください。 金属端面などでけがをするおそれがあります。		電源プラグは確実に差し込む ● 電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。 火災の原因になります。
	運転中は指や物を入れない ● 運転中は危険ですから、レンジフード本体の中に指や物を入れないでください。 けがのおそれがあります。		電源コードを傷めない ● 電源プラグを抜くときは、電源コードを持って引き抜かないでください。 電源コードが断線し、火災の原因になります。
	レンジフードにのらない ● レンジフードにのったり、ぶら下がることはやめてください。 落下によりけがをするおそれがあります。		電源プラグのお手入れを ● 定期的に電源プラグを抜き、電源プラグのほこり等を除去してください。 湿気などで絶縁不良になり、火災の原因になります。

各部のなまえ



使 い 方

1.ご使用時の注意

- 電球は市販の白熱電球（指定ワット数）をご使用ください。（指定ワット数は、ランプカバー貼付のシールに記載されております。）
- 調理器具使用時はレンジフードも必ず運転してください。また、調理器具の空だきは、製品の損傷や過熱による故障の原因になりますので、絶対にしないでください。
- ターボファンを外したまま（無負荷）でモーターを長時間回さないでください。
- ターボファンが回転中は危険ですから指や物を絶対に入れないでください。
- 風の影響により煙がもれる事がありますので、レンジフード付近の窓はなるべく閉めてください。
- レンジフード使用の際は、外気に面した給気口を開けてください。給気口を閉めたままでレンジフードを使用すると、排気性能が弱くなるおそれがあります。
- 本製品の性能部品は一般市販のものと交換して使用しないでください。
特にパンチングフィルターは一般市販品をご使用になりますと、排気風量が低下したり、音が大きくなり故障の原因となるおそれがありますので、絶対に止めてください。
- 点灯中の電球は、大変に高温になります。電球の交換は、電球がじゅうぶんに冷えていることを確認してから行ってください。電球やその周辺が加熱しており、やけどをするおそれがあります。
- IH クッキングヒーター（電気コンロ）使用時、フードがあたたまりにくいため、結露（水滴）が生じることがあります。お手数ですがその際は滴下する前に拭き取ってご使用ください。特に冬季など気温の低い状況では結露水がたまりやすくなりますのでご注意ください。
- キッチンの気温が低いときに使用された場合にはレンジフードの表面が結露することがあります。この場合は拭き取って使用してください。
- グリル付の調理器具と合わせて使用する場合、グリル排気口から出る煙によって、照明カバー表面が結露することがあります。この場合は拭き取って使用してください。

使 い 方

2.スイッチの操作

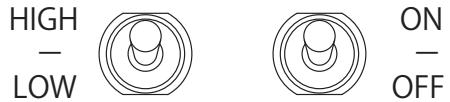
⚠ 警告

スイッチには、水、洗剤等の液体をつけたり、かけたりしないでください。ショートや感電、火災のおそれがあります。

ON/OFF レバーを ON 側に倒すと、照明が点灯
ファンが回転し換気を行います。

ON/OFF レバーを OFF 側に倒すと、照明が消灯
ファンが停止します。

HIGH/LOW レバーを倒し、「強」「弱」の
切り替えを行います。



3. 電球の交換方法

ご使用ランプが切れた場合は、市販の白熱電球（指定のワット数は、ランプカバーに貼付のシールに記載しております。）を購入し交換してください。

1. ランプカバーを手で支えながら、ドライバーで固定ねじをゆるめてはずしてください。
2. 電球を回すと電球がはずれます。
3. 新しい電球をしっかりと取り付けてください。
4. ランプカバーの固定ねじをしっかりとしめつけてランプカバーを固定します。
・ランプカバーの固定ねじは電動工具を使用しないでください。ねじが破損するおそれがあります。

⚠ 注意

点灯中の電球は、大変に高温になります。電球の交換は、電球がじゅうぶんに冷えていることを確認してから行ってください。電球やその周辺が過熱しておりやけどをするおそれがあります。

お手入れのしかた

1. お手入れ時のご注意

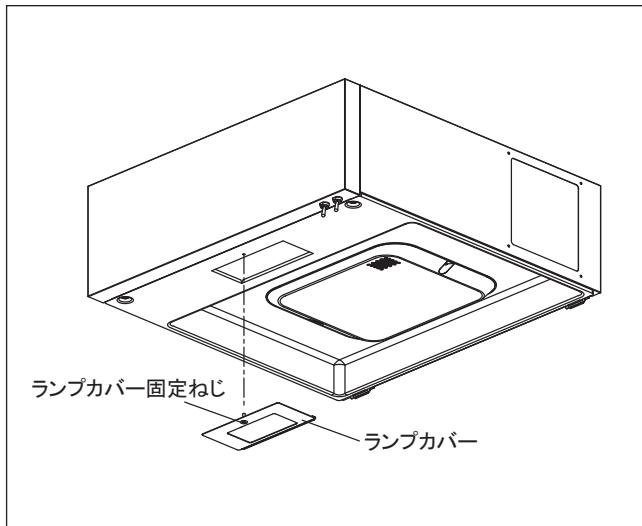
- お手入れや電球の交換の際は、必ず電源プラグを抜く、または、分電盤のブレーカーを切って行ってください。（分電盤のブレーカーを切る場合は、他機器の電源も切れるおそれがあります。）
- モーター、スイッチなどの電気部品は、水、洗剤等の液体をつけたり、かけたりしないでください。
- シンナー、ベンジン、灯油、ガソリン、ベンゾール、ミガキ粉、アルカリ性洗剤などは、塗装面をいためたり、塗装のはがれ等の原因となりますのでご使用しないでください。
- お手入れのときは、厚手の手袋を着用してください。薄板の切口などで手を切るおそれがあります。
- レンジフードは、汚れやすいので、3ヶ月に1回程度（パンチングフィルターは、1ヶ月に1回程度）お手入れしてください。
- フードをはずすときは、必ずフードを手でおさえながら、取付ねじをはずしてください。フードが落下し、ケガをするおそれがあります。
- 付着した油分はこまめにふき取ってください。長時間放置しますと油だれの原因になります。

お手入れのしかた

2. お手入れのしかた

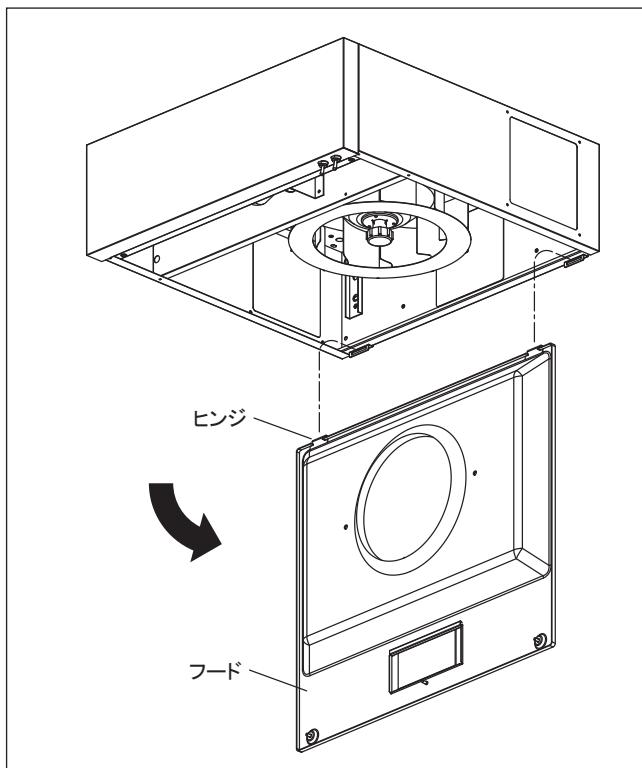
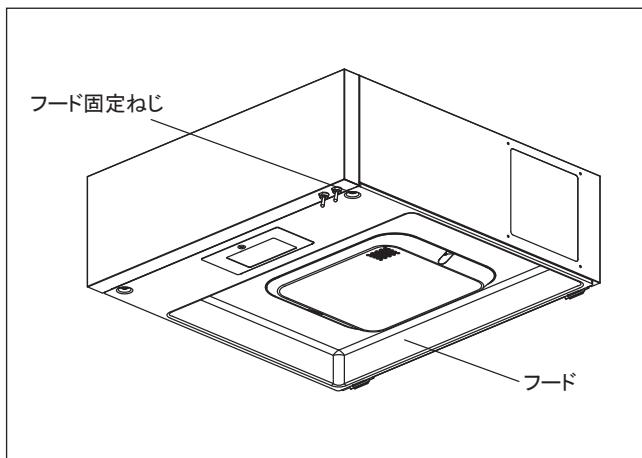
● 部品のはずしかた

- ① 電源プラグをコンセントから抜いてください。又は、分電盤のブレーカーを「切」にしてください。
- ② ランプカバー固定ねじをゆるめてランプカバーをはずします。
- ③ フードをはずしてください。
フード固定ねじ 2 本をゆるめると手前側がはずれ、奥側のヒンジ部をはずすと取りはずせます。

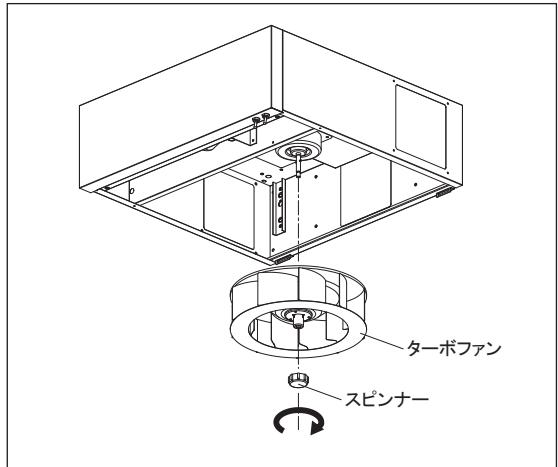


⚠ 警告

フードをはずすときは、必ずフードを手でおさえながら、固定ねじをゆるめてください。
フードが落下し、ケガをするおそれがあります。



- ⑤ ターボファンを支えながらスピナーオーを「ユルム」の方向に回して、はずしたのち、ファンを軸より抜いてください。
※「ユルム」については、スピナーに記載しています。



● お手入れのしかた

- ⑥ ターボファン、スピナーは中性洗剤をとかしたぬるま湯（約40°C）に浸し、スポンジ、布または金属以外のたわしなどで油塵などを洗い落とし、洗剤が残らないように水洗いしてからふき取ってください。（食器洗い乾燥機は使用しないでください。）
- ⑦ 本体、フード、パンチングフィルター及びランプカバーは薄めた中性洗剤を付けた布でふき、洗剤が残らないよう十分ふき取ってください。
- ⑧ 本体の中は特に油塵がたまりやすいので、同様にふき取ってください。
- ⑨ モーター、スイッチなどの電気部品は、中性洗剤を浸した布をよくしぼってからふいてください。

● 部品の取り付けかた

- ⑩ 以上のお手入れが終りましたら、部品の取り付けは、「部品のはずしかた」の逆の順序で取り付けてください。
- ⑪ ねじをしめる際は電動工具は使用しないでください。ねじが破損するおそれがあります。
※正常に運転するかどうか次の項目を確かめてからご使用ください。
 - ターボファン、スピナー、ランプカバー、フード、パンチングフィルターなどが本体に確実にゆるみなく取り付けてあること。
 - 運転時に異常な振動、騒音がないこと。

故障と思われる前に

修理を依頼される前に、もう一度確かめてください。

それでもなお異常のある場合は事故防止のため使用を中止し、電源を切って工務店に点検、修理を依頼してください。

ご自身での修理は危険ですから絶対にしないでください。

症 状	点 検	処 理
スイッチを入れてもターボファン・照明の電源が入らない。	<ul style="list-style-type: none"> ●電源プラグがコンセントから抜けていたり、不完全な差し込みになっていますか？ ●分電盤のブレーカーが下がって（電源が切れて）いませんか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ●電源プラグをコンセントに完全に差し込んでください。 ●分電盤のブレーカーを“入”にしてください。
異常音や振動がする。	●スピナーがゆるんでいませんか？	●スピナーを完全にしめてください。
	●ターボファン内部に異物が混入していますか？	●異物を取り除いてください。
	●ターボファンが変形していませんか？	●工務店にご依頼ください。
	●本体の取付ねじがゆるんでいませんか？	●工務店にご依頼ください。
	●給気が十分ですか？	●十分な給気を確保してください。
排気が悪い。	●パンチングフィルターは汚れていますか？	●前頁の「お手入れのしかた」をご覧になり、お手入れしてください。
	●給気口が開いていますか？	●給気口を開けてください。
	●近くの窓が開いていてレンジフードへ直接風が吹込んでいませんか？	●近くの窓を閉じてください。

仕様

型名の表示箇所は、7ページを御覧ください。

電圧(V)	周波数	速度調整	消費電力(W)	風量(m ³ /h)	騒音(dB)
100	50Hz	強	105	540	47
		弱	95	430	42
	60Hz	強	120	540	47
		弱	100	400	40

消費電力・風量・騒音の測定は JIS C 9603 による

●レンジードファンに使用している部品は、性能向上のために予告なしに一部変更することがあります。

【本製品の設計上の標準使用期間について】

本製品は、設計上の標準使用期間を10年と算定しており、適切な点検をすることなく、この期間を超えて使用されると、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

※設計上の標準使用期間とは、標準的な使用条件(下記の〈設計上の標準使用期間の算定の根拠〉参照。)の下で、適切な取り扱いで使用し、適切な維持管理が行われた場合に、安全上支障なく使用することができる標準的な期間として設計上設定される期間で、製品毎に設定されるものです。

メーカー無償保証期間とは異なるものでご注意ください。

〈設計上の標準使用期間の算定の根拠〉

本製品の設計上の標準使用期間は、製造年を始期とし、以下の使用条件を想定して、当社において耐久試験等を行った結果算出された数値等に基づき、経年劣化により安全上支障が生ずるおそれが著しく少ないと確認した時期を終期として設計上の標準使用期間を設定しております。

《使用条件》

環境条件	電圧	100V
	周波数	50Hz/60Hz
	温度	20°C (JIS C 9603 参照)
	湿度	相対湿度 65% (JIS C 9603 参照)
	設置条件	標準設置 (取付・設置説明書による)
負荷条件		定格負荷 (換気量) (取扱説明書による)
想定時間	1 年の使用時間	2,410 時間／年

注) 常時換気(24 時間連続換気)のものは、8,760 時間 / 年とする。

〈ご注意ください〉

- 本製品を上記の標準的な使用条件を超える使用頻度や異なる使用環境などでお使い頂いた場合には、設計上の標準使用期間よりも早期に安全上支障を生じるおそれが多くなることが予想されます。
- 製品を目的外の用途で使用したり、業務用に使用されるなど、上記の標準使用条件と異なる環境で使用された場合も設計上の標準使用期間の到来前に経年劣化による重大事故発生のおそれが高まることが予想されますが、このようなご使用は、お控えいただくようお願いいたします。

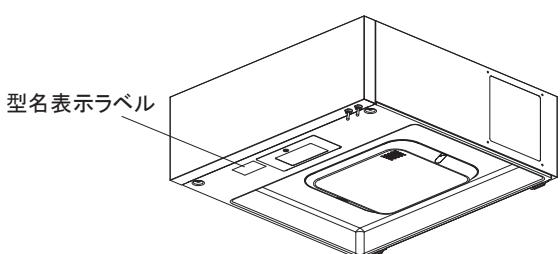
アフターサービスについて

修理を依頼されるときは

- 「故障と思われる前に」の項目を調べていただき、なお異常が認められる場合にはまず運転を停止し、電源プラグを抜く又は分電盤のブレーカーを切ってからお買い上げの工務店にご連絡ください。

ご連絡していただきたい内容	
品名	フラットレンジフード
型名	表示位置は下記を参照してください
お買い上げ日	年月日
故障の状況	出来るだけ具体的に
ご住所	付近の目印なども併せてお知らせください
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	

レンジフードの型名は、本体下部に表示しています。



愛情点検



●長年ご使用の換気扇の点検を！

ご使用の際
このようなことは
ありませんか

- スイッチを入れてもターボファンが回転しない。
- 運転中に異常音や騒音がする。
- 回転が遅いまたは不規則。
- こげ臭いにおいがする。
- その他異常を感じる場合。

換気扇の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切り後6年です。

使用中止

故障や事故防止のため電源プラグを抜くか、又は分電盤のブレーカーを切って必ず工務店にご連絡ください。
点検、修理に要する費用は工務店にご相談ください。

△ 安全に関するご注意 ●フード周辺のレイアウトは、各市町村の条例に従ってください。

お客様の個人情報のお取り扱いについて

当社および当社関係会社（以下「当社」）は、お客様よりお知らせいただいたお客様の氏名・住所などの個人情報（以下「個人情報」）を、下記の通り、お取り扱いします。

- 当社は、お客様の個人情報を、当社製品のご相談への対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容を残すことがあります。
なお、修理やその確認業務を当社の協力会社に委託する場合、法令に基づく義務の履行または権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を開示・提供いたしません。
- 当社は、お客様の個人情報を、適切に管理します。
- お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

お客様メモ

後日のために記入して
おいてください。

サービスを依頼される
とき、お役に立ちます。 ご購入年月日

年 月 日